

平成 30 年度伊予市社会福祉協議会事業報告書

伊予市社会福祉協議会は、平成 30 年度の事業計画に基づき、重点目標を次の 4 点として社会福祉の推進に取り組みました。

【重点目標】

1. 住民主体の地域福祉の推進
2. 権利擁護の推進
3. 安心の窓口づくり
4. 在宅福祉サービスの充実

なお、法人運営事業をはじめ、実施した事業の主な内容は以下のとおりです。

社協運営事業

1. 法人運営等事業

※決算区分No.1~4

【事業内容】

理事会及び評議員会の開催並びに監査の実施等により、社協運営の発展と事務事業の適正化を図るとともに、法人改革に則した手続きを行い、福祉活動専門員による各種課題解決への取り組みや関係諸団体の活動支援、社協会員・会費についての啓発、社協だよりによる社協の取り組み報告や各種事業への参加呼びかけ、社会福祉の発展に貢献いただいた方の顕彰とボランティア活動を促進するための「伊予市社協福祉まつり あい・愛フェスタ」の開催等を行った。

【実績】

1. 法人運営会議等

①理事会

開催日 平成 30 年 6 月 5 日・10 月 24 日・12 月 13 日、平成 31 年 3 月 20 日（4 回）

場 所 伊予市総合保健福祉センター2 階活動室

内 容 事業実績・決算、規程一部改正、評議員選任候補者の推薦、定時評議員会開催、上半期の活動報告、補正予算、社会福祉充実計画終了、事業計画・予算など

②評議員会

開催日 平成 30 年 6 月 19 日・12 月 20 日、平成 31 年 3 月 27 日（3 回）

場 所 伊予市総合保健福祉センター2 階活動室

内 容 事業実績・決算、理事選任、規程一部改正、補正予算、社会福祉充実計画終了、事業計画・予算など

③監 査

開催日 平成 30 年 5 月 17 日
場 所 伊予市総合保健福祉センター2 階活動室
内 容 平成 29 年度事業実績・決算

④評議員選任・解任委員会

開催日 平成 30 年 6 月 8 日
場 所 伊予市総合保健福祉センター2 階活動室
内 容 評議員の選任

2. 広報啓発

①広報誌「いよし社協だより」の発行（年 6 回、奇数月）

内 容 事業計画・予算、社協会員加入のお願い、事業報告・決算、障害者相談支援センターからのお知らせ、共同募金やあい・愛フェスタのお知らせ、民生児童委員の活動紹介ほか

②社協イメージキャラクターあいみん。の日の活動

期 間 平成 30 年 11 月 18 日～平成 30 年 12 月 25 日
回 数 2 回
内 容 あい・愛フェスタ、郡中放課後児童クラブクリスマス会

3. 地域福祉活動計画審議会の開催

①平成 30 年度第 1 回審議会

日 時 平成 31 年 2 月 18 日(月) 14 時から
場 所 伊予市役所 大会議室
内 容 伊予市地域福祉活動計画の推進状況についてほか

4. 伊予市社協福祉まつり『あい・愛フェスタ』の開催

日 時 平成 30 年 11 月 18 日(日)午前 10 時から
場 所 伊予市総合保健福祉センター1～3 階・駐車場
内 容

○式典、記念講演

《表彰》

民生児童委員、高齢者見守り員、共同募金運動功労者等への表彰状授与及び感謝状の贈呈

対象：17 人、4 団体、12 広報委員区

《記念講演》

【演題】『一人一人のワクワクがみんなのウキウキに』

【講師】林家きく姫 氏（落語家）

○ボランティア連絡協議会活動発表及び体験

○その他

各種団体バザー、自衛隊車両の展示・試乗・子ども制服の試着、パトカー・白バイの展示・試乗・警察官子ども制服の試着、消防車両・

救急車両の展示・試乗・水消火器体験・消防隊員子ども制服の試着、
愛媛マンダリンパイレーツ交流イベント、キッズおもちゃ病院、介
護セミナー、スタンプラリー ほか

5. 福祉機器の貸し出し 77件

車いす 69件、ポータブルトイレ 6件、バスボード 1件、歩行補助器 1件

6. 地区社協の活動支援ほか

地域福祉事業

2. 福祉サービス利用援助事業

※決算区分No.5

【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断に迷い、適切な福祉サービスを受けることができない方に対し、専門員及び生活支援員による福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービスを行うことにより、できる限り地域で安心して自立した生活を送ることができるよう支援を行った。

1. 業務範囲

- ①調査、支援計画の策定、契約など
- ②福祉サービスの利用援助
- ③日常的な金銭管理
- ④書類等の預かり

2. 人員体制

- ① 専門員：2人（社会福祉協議会職員）
- ② 生活支援員：2人（社会福祉協議会非常勤職員）

【実績】

○利用者数 12人（内訳：認知2人、精神5人、知的5人）

○支援回数

定期支援 延 277回（月平均 23.1回）

相談援助 延 723回（月平均 60.3回）

○その他 問い合わせ等 8件／12か月

3. 法人後見事業

※決算区分No.6

【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がい等で日常生活上の判断能力が不十分になった場合に、不動産や預貯金などの管理、福祉サービスに関する契約、遺産分割などで不利益をこうむることがないように、社会福祉協議会が成年後見人等となり保護・支援を行った。

【実績】

○受任件数 13 件（平成 31 年 3 月 31 日現在）

- ・補助 1 件 60 代 1 人 精神障がい（在宅）
- ・後見 12 件 50 代 1 人 知的障がい（在宅）
50 代 2 人 精神障がい（長期入院）、知的障がい（グループホーム入居）
60 代 2 人 知的障がい（在宅）、認知症（グループホーム入居）
70 代 1 人 認知症（入院中）
80 代 4 人 認知症（特別養護老人ホーム入所・グループホーム入居）
90 代 2 人 認知症（特別養護老人ホーム入所）

○訪問及び相談支援回数

- ・補助 171 回
- ・後見 1,076 回
- 合計 1,247 回 月平均 104 回

4. 民生児童委員協議会運営事業**※決算区分No.7****【事業内容】**

民生児童委員協議会の事務局として、地域福祉活動推進の支援を行った。

【実績】

○役員会

回数及び参加者 12 回（毎月 1 回）開催、延 216 人の参加

○主な研修会

・県外視察研修

実施日：7 月 20 日

内 容：香川県おもいやりネットワーク事業の概要

参加人数：77 人

・役員研修

実施日：11 月 1 日

内 容：砥部町民生児童委員協議会との交流会

参加人数：19 人

・全体研修会

実施日：8 月 27 日

内 容：「介護保険サービスの利用について」

参加人数：88 人

実施日：2 月 18 日

内 容：「豪雨災害からみる民生児童委員活動について」

参加人数：92 人

・部会研修

障害者福祉部会：開催回数 2 回、延べ参加人数 51 人

高齢者福祉部会：開催回数 2 回、延べ参加人数 56 人

児童福祉部会：開催回数 2 回、延べ参加人数 59 人

主任児童委員部会：開催回数 3 回、延べ参加人数 32 人

○その他

・みんな集まれ「にこにこ食堂」

実行委員会：8 回、延べ参加人数 126 人

実 施：2 回（12 月 1 日：さざなみ館、2 月 23 日：伊予市総合保健福祉センター）

延べ参加人数 50 人

・むつみふれ愛まつり、伊予市社協福祉まつり『あい・愛フェスタ』 にバザー出店

・愛媛県民生児童委員研修会等への参加

5. 共同募金事業

※決算区分No.8

【事業内容】

募金運動についてわかりやすいチラシを作成しPRに努めるとともに、市内のボランティアグループや高校生と協力して街頭募金を実施した。また、市内ボランティア・福祉団体や公募申請のあった団体に活動費等の助成を行なった。

歳末たすけあい募金については、ふれあいの集い等を通じて地域交流のために有効利用した。

【実績】

《募金活動》

① 赤い羽根募金

期 間：平成 30 年 10 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

種 別：戸別募金、事業所・法人募金、学校、職域、街頭募金など

② 歳末たすけあい募金

期 間：平成 30 年 12 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

種 別：戸別募金、事業所・法人募金など

《使いみち》

① 赤い羽根募金（地域配分金）

・福祉団体等（14 件）市内スポーツ少年団（19 件）や公募によるささえあい活動（13 件）への支援、社会福祉協議会実施事業（卒寿記念品贈呈、あい・

愛フェスタ)等へ活用

② 歳末たすけあい募金

・歳末ふれあいの集い(112グループ)やひとり暮らし高齢者の友愛訪問、児童クラブクリスマス会等へ活用

6. 生活福祉資金貸付事業

※決算区分No.9

【事業内容】

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付けや必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援した。また、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、より効果的・効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図った。

(注)伊予市社会福祉協議会では、利用希望者の相談受付、申請手続きを行うのみで、資金貸付は愛媛県社会福祉協議会で審査、決定の上行になっている。

【実績】

○相談件数 延 31 件

内 訳

世帯種別：低所得世帯 17 件、障がい者世帯 2 件、生活保護世帯 2 件、その他 10 件

資金種別：福祉資金(緊急小口以外) 8 件、福祉資金(緊急小口) 16 件、教育支援資金 4 件、不動産担保型資金 3 件

○貸付件数 7 件

内 訳

資金種別：福祉資金(緊急小口) 6 件、教育支援資金 1 件

7. まごころ銀行事業

※決算区分No.10

【事業内容】

預託いただいた方の意思に沿って、一人ひとりが豊かで、お互いに支えあい、また、安全・安心で快適に過ごすことができる地域を目指し、各地区社会福祉協議会活動やボランティア事業等に預託金を活用した。

【実績】

預託状況

- ・香典返し等 21 件、計 1,379,807 円

払出状況（運営委員会の計画に基づく助成等）

- ・指定団体等への払い出し
- ・各地区社会福祉協議会助成金（市内 6 地区）
 使いみち：地域ふれあい事業、敬老の家事業、給食サービス事業、紙おむつ支給事業 他
- ・災害見舞金（火事見舞 3 件）
- ・ボランティア関係事業

8. 生活困窮者自立支援事業

※決算区分No.11

【事業内容】

伊予市に居住する生活困窮者から個別に相談を受け、生活困窮者が抱える多様な課題の解決に向けた各種支援が計画的かつ包括的に行われるよう自立支援計画書を作成するとともに、これが実現に向け関係機関と連携し、生活困窮者の自立の促進に努めた。

【実績】

- ・相談受付件数 延 34 件
 内、プラン作成件数 4 件、就労（支援）者数 1 人

9. 心配ごと相談事業

※決算区分No.12

【事業内容】

日常生活におけるさまざまな悩みごとに、専門的見地からアドバイスを行った。

【実績】

相談件数	相談員等	相談内容（件数）
一般相談 4 件	民生児童委員・社協役員 ・ 伊予…第 4 水曜日	・ 伊予（1）…苦情（1） ・ 中山（1）…その他（1）
※相談内容は 4 件	・ 中山…第 2 木曜日 ・ 双海…第 2 水曜日	・ 双海（2）…家族（1）その他（1）

弁護士相談 77件 ※相談内容は 82件	向井法律事務所所属弁護士 (伊予事務所で 毎月第1・3水曜日)	生計(3) 職業・生業(2) 住宅(12) 家族(24) 離婚(8) 人権・法律(1) 財産(22) 事故(1) 苦情(5) その他(4)
行政書士相談 12件	愛媛行政書士会松山支部所属 行政書士 (伊予事務所で毎月第2金曜日)	相続ほか
税理士相談 19件	四国税理士会松山支部所属 税理士 (伊予事務所で 毎月第2・4火曜日)	税務相談ほか

10. 高齢者見守り員設置事業

※決算区分No.13

【事業内容】 おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、見守りや相談支援を行うことにより、不測の事態を未然に防ぐよう努めた。また、研修会を開催し高齢者見守り員の資質の向上を図った。			
【実績】			
見守り員数	対象者数	内 容	備 考
93人	約640人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友愛訪問 ・ 各地区定例会の開催、全体研修会2回、視察研修1回の開催 ・ 関係各機関の行事に協力 ・ 緊急時安心キットの配付 	定例会を開催し、情報交換及び関係事業の総合調整を行っている。

11. ふれあい・いきいきサロン事業

※決算区分No.14

【事業内容】 地域の世話人が中心となり、集会所等を利用して高齢者のふれあいや交流の場を設け、簡単なレクリエーションをしたり、いっしょに食事をしたりすることで毎日の生活に変化をつけるとともに孤独感の解消につなげた。
--

【実績】

1. サロン数等
 - ・サロン数 69
(内訳：大平 8、中村 10、郡中 17、上野 11、中山 12、双海 11)
 - ・実施回数 650 回／年
 - ・参加者数 延 10,852 人 (平均 16.7 人／回)
2. 世話人研修会
 - ① 開催日 平成 30 年 7 月 13 日
開催場所 伊予市総合保健福祉センター
テーマ及 「サロンで簡単にできるレクリエーション」
び講師 愛媛県福祉レクリエーション研究会ネットワーク
会長 久保田加寿美 氏
参加者数 48 人
 - ③ 開催日 平成 31 年 2 月 27 日
開催場所 伊予市総合保健福祉センター
テーマ及 「高齢者に適した食事について」
び講師 管理栄養士・健康運動指導士 松本孝子 氏
参加者数 67 人

12. ボランティア活動推進事業

※決算区分No.15

【事業内容】

ボランティアセンターを活用し、ボランティア意識の高揚やボランティア活動の輪を広げるための各種講座・サロンを開催するとともに、ぽかりん通信を毎月発行して情報発信を行った。

また、災害に備えて災害ボランティア研修会や家具転倒防止事業も行った。

【実績】

1. ボランティアセンターの活動
 - ①ボランティア活動の相談・援助
相談件数 23 件、援助件数 17 件
 - ②ボランティア保険への加入手続き
ボランティア活動保険 26 件
ボランティア行事用保険 13 件
福祉サービス総合補償 3 件
大規模災害保険（平成 30 年西日本豪雨災害） 21 件
 - ③ボランティア講座の開催
 - ・傾聴ボランティア養成講座 11 回開催（内 6 回は実習）、

受講者 23 人

4 回開催、受講者 8 人

- ・夏休みボランティアスクール

④イベント等の開催

- ・家具転倒防止事業
- ・伊予市社協福祉まつり『あい・愛フェスタ』（11 月 18 日）
- ・災害ボランティア研修会（3 月 3 日）

⑤手話サロンの開催

- ・開催回数 毎月 1 回第 3 月曜日、計 12 回
- ・延参加者 104 人

⑥ぽかりん☆サロンの開設（常設、自主事業）

- ・開催回数 毎月 1 回第 3 金曜日、計 12 回
- ・延参加者 約 1,500 人

※その他、イベント参加 2 回

⑦その他

- ・福祉教育の一環として車いすや高齢者疑似体験グッズの貸出 10 件
- ・市主催手話奉仕員養成講座において「ボランティア活動について」講演
- ・ボランティア連絡協議会の運営
- ・エコキャップやプルタブの回収など

2. ボランティアセンターの施設利用状況

- ・会議室等の名称
第 1 活動室、第 2 活動室、第 3 活動室、録音室、集いの場
- ・利用者数
延 10,807 人（男 2,847 人、女 7,960 人）

3. その他の活動

- ・西日本豪雨災害支援 7 月 14 日～10 月 7 日
市内在住・在勤者延べ 30 人、社協職員延べ 61 人

13. ぐんちゅうふれあい館等運営事業（指定管理）

※決算区分No.16～18

【事業内容】

高齢者が健康で明るい生活を営むことができるよう各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与し支援した。

《業務内容》

- ①施設の維持管理
- ②高齢者の生活相談に応じた援助または指導
- ③高齢者の健康相談に応じた援助または指導
- ④高齢者の後退機能の回復訓練

⑤高齢者の教養の向上及びレクリエーション等のための便宜の供与

⑥その他高齢者福祉の向上に関する援助など

【実績】

1. ぐんちゅうふれあい館

開館日数 290日 利用者数 21,874人 (1日平均 75.4人)

施設管理人 3人 (非常勤)

2. 唐川ふれあいプラザ

開館日数 254日 利用者数 3,669人 (1日平均 14.4人)

施設管理人 2人 (非常勤)

3. 上灘老人憩の家

開館日数 272日 利用者数 5,841人 (1日平均 21.5人)

施設管理人 3人 (非常勤)

在宅介護事業

14. 在宅介護支援センター事業

※決算区分No.19

【事業内容】

在宅や地域生活をおくる上で援護を必要とする高齢者及びその家族等の相談に応じ、必要な保健・福祉・医療サービスが受けられるよう関係機関と連絡調整を行うとともに、介護予防や独居高齢者等の見守り、あるいは虐待などさまざまな課題の発見及び解決に向けた支援を行った。

【実績】

・相談者数 実人数 47人、延人数 252人

・相談内容 介護保険 161件、社会資源・サービス 51件、施設入所 4件
医療 5件、その他 31件 合計 252件

15. 徘徊高齢者 SOS ネットワーク (在宅介護支援センター) 事業

※決算区分No.19

【事業内容】

認知症高齢者の所在がわからなくなった場合に、伊予市、伊予警察署その他関係機関・団体等が一体となって早期発見・保護に努め、認知症高齢者を抱える家族が安心して生活できるよう支援した。

【実績】

・登録者数 20人 (平成31年3月末現在)

内 訳：伊予 13人・中山 6人・双海 1人

・発動件数 0人

16. デイサービスセンター じゅらく運営事業

※決算区分No.20・30

【事業内容】

総合事業対象者や要支援者が出来る限りその居宅で自立した生活を営むことができるよう、理学療法士や専門スタッフによる運動器機能向上やレクリエーション、趣味の活動等を通じた認知症予防・閉じこもり予防プログラムを実施し、要介護状態にならないよう支援した。

【実績】

- ・開所日数 … 254 日
 - ・職員体制 … 管理者 1 人・介護職員 2 人・看護職員 2 人・生活相談員 2 人・
(うち 1 人は管理者兼務)・運転手 1 人
 - ・行事内容 … 介護予防リハビリ、外出、脳トレ、陶芸教室など
 - ・利用者数
 - 総合事業対象高齢者 延 1,056 人
 - 要支援者 延 1,918 人
- ※運動器機能向上指導講師 … ㊦愛媛リハビリ

17. 伊予市子育て支援ヘルパー派遣事業

※決算区分No.23

【事業内容】

妊娠中及び出産後の母子並びに児童の養育について支援が必要である家庭に対し、家事や育児の支援を行うことにより、心身の安定と育児不安を解消し、養育者の負担軽減と安定した児童の養育を図れるようにした。

【実績】

相談 3 件 利用 0 件

18. 伊予市一般介護予防事業

※決算区分No.24

【事業内容】

市内在住の 65 歳以上の高齢者やその支援活動に関わる方に対し、要介護状態に陥ることなく地域で自立した生活が送れるよう、転倒予防、認知症予防などの介護予防のための知識の普及、啓発等を行った。

【実績】

① 転倒予防教室

実施期間 平成 30 年 7 月 23 日～平成 31 年 1 月 11 日
実施場所 本郷集会所ほか 2 か所

実施回数	3回
参加者数	延76人
② 認知症予防教室	
実施期間	平成30年7月3日～平成31年3月1日
実施場所	伊予市総合保健福祉センターほか 2か所
実施回数	10回
参加者数	延177人

介護保険事業

19. 居宅介護支援事業

※決算区分No.21・22・25・26

【事業内容】		
介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、可能な限り居宅において日常生活が送れるよう、本人や家族の希望、心身の状況に応じたケアプランを作成するとともに各種相談、介護サービス利用等の総合的な支援を行った。		
【実績】		
事業所名	介護支援専門員数	利用者数
伊予事務所	常勤 3人	実人数 127人 (うち介護予防 2人)
双海事務所	常勤 1人	実人数 51人 (うち介護予防 4人)

20. 訪問介護事業

※決算区分No.27～29

【事業内容】		
ホームヘルパーが要介護者等の家庭を訪問し、出来る限り自立した生活を送れるよう食事、入浴、排泄などの身体介護や炊事、掃除などの生活援助を行った。		
【実績】		
1. 伊予事務所		
訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 3人	要介護者 30人	5,497時間
非常勤 12人	要支援者 24人	
計 15人	総合事業対象者 1人	

2. 中山事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 3人 非常勤 7人 計 10人	要介護者 33人 要支援者 14人	4,328時間

3. 双海事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 2人 非常勤 9人 計 11人	要介護者 36人 要支援者 17人	3,966時間

障害支援事業

21. 障害者福祉サービス・地域生活支援事業

※決算区分No.31・34

【事業内容】

身体・知的・精神障がい者（児）が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行った。

【実績】

1. 居宅介護等事業

(単位：人、回、時間)

	延べ人数	派遣回数	家事	身体	通院身有	通院身無	同行身有	同行身無	時間合計
身体障害	131	2214	1592:30	355:30	84:30	5:30			2038:00
障害児									
知的障害	135	2713	1324:00	595:30		34:30			1954:00
精神障害	268	2925	2117:00	24:30	44:30	265:30			2451:30
同行援護	24	168					49:30	276:30	326:00
合計	558	8020	5033:30	975:30	129:00	305:30	49:30	276:30	6769:30

2. 地域生活支援事業

障害種別	利用実人数	派遣延回数	派遣時間
知的障害	6	222	310:30
精神障害	2	196	153:00

【事業内容】

① 一般相談支援事業

- (1) 福祉サービスの利用援助
- (2) 社会資源を活用するための支援
- (3) 社会生活力を高めるための支援、社会生活訓練プログラムの実施
- (4) ピアカウンセリング
- (5) 権利擁護のために必要な援助
- (6) 専門機関の紹介 など

② 障害者相談支援センター事業

- (1) 基幹相談支援センター等機能強化事業（障害者相談支援事業を円滑に実施し、地域の相談支援機能を強化するもの）
- (2) 住宅入居等支援事業（賃貸契約による一般住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障がい者に対し、入居に必要な調整等を行う）
- (3) 障害者虐待防止、障がい者の養護者に対する支援業務 など

③ 特定相談支援事業

特定・障害児相談支援、基本相談支援に加え、相談支援専門員がアセスメントを行い、障がい者の自立した生活を支えると共に抱える課題の解決や本人に必要なサービスの種類と利用量を的確に見極め、サービス等利用計画の作成と一定期間ごとの見直し（モニタリング）を行った。

【実績】

① 一般相談支援事業

- 利用者数 151人（障がい者127人、障がい児24人）
- 相談件数 313件（障がい者280件、障がい児33件）
- 支援内容及び件数

・福祉サービスの利用等（202）、障がいや病状の理解（131）、健康・医療（87）、不安解消・情緒安定（127）、保育・教育（31）、家族関係・人間関係（134）、家計・経済（113件）、生活技術（145）、就労（137）、社会参加・余暇活動（7）、権利擁護（14）、その他（113）

合計 1,241件

② 障害者相談支援センター事業

- 関係機関定例会の開催

・相談支援事業者等定例会

期 間	平成30年4月～平成31年2月
回 数	11回
場 所	社協伊予事務所2階会議室

参加者 延べ85人
内 容 情報提供・情報共有、事例検討ほか

・障がい福祉サービス事業者等定例会兼研修会

期 間 平成30年5月～平成31年1月

回 数 5回

場 所 社協伊予事務所2階会議室

参加者 延べ57人

内 容 情報提供・情報共有、衛生管理、権利擁護関係事業ほか

・障がい児福祉サービス事業者等定例会

期 間 平成30年5月～平成31年3月

回 数 6回

場 所 社協伊予事務所2階会議室

参加者 延べ69人

内 容 情報提供・情報共有ほか

○障がい福祉サービス等事業者研修会の開催

期 間 平成30年7月～平成30年11月

回 数 5回

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階会議室

参加者 延べ145人

内 容 こころと体のメンテナンス

みんなで作るいきいき職場

高次脳機能障害の支援

高次脳機能障害の事例検討

正しく理解しよう！発達障害

③ 特定相談支援事業

○計画相談支援

件 数 369件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内 容 利用支援（86件）、継続支援（143件）、退院・退所加算（1）、
居宅介護支援連携加算（1件）、初回加算（1件）、サービス担
当者会議実施加算（6件）、サービス提供時モニタリング加算
（163件）

○障がい児相談支援

件 数 117件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内 容 利用支援（48件）、継続支援（76件）、医療・保育・教育機関
連携加算（4件）、初回加算（2件）、サービス担当会議実施
加算（3件）、サービス提供時モニタリング加算（3件）

23. 手話通訳者設置事業（障害者相談支援事業）

※決算区分No.33

【事業内容】

聴覚障がい者の社会生活における自立と社会参加を促進するために手話通訳者を設置する事により、意思疎通の円滑化と福祉の増進を図った。

（具体例：来所した聴覚障がい者等に、手話通訳業務及び聴覚障がい者等に対する障がい福祉サービス等に係る情報提供等の支援、聴覚障がい者等の家庭等に訪問し、職務を遂行する場合における同行通訳業務、緊急かつ他に代替することができない場合における所外による手話通訳業務。）

【実績】

①相談業務 48件

②手話サロンの開催

期 間 平成30年4月16日～平成31年3月18日

回 数 12回（毎月第3月曜日、祝日と重なる時は変更あり）

場 所 ボランティアセンター集いの場

参加者 104人

③手話教室の開催

期 間 平成30年4月23日～平成31年3月4日

回 数 10回

場 所 子ども総合センター適応指導教室

対 象 小中学生

参加者 85人

④手話関連図書の貸し出し（登録者19人）利用人数 52人